



Table 1. S-Adchnon 臨床使用成績

症 例	性	年齢	病 名	主 訴	投与前尿所見		投 与 量			投与後尿所見		併 用 薬	効 果	副作用
					赤血球	蛋 白	1日量	日 数	総 量	赤血球	蛋 白			
1. S.T.	男	24	左特発性腎出血	肉 眼 的 血 尿	100~ 200/F	50mg/dl	180 mg	7 日	1260 mg	200~ 300/F	50mg/dl	Keflex Gastropylone 6 cap 4.0	無 効	(-)
2. H.M.	女	32	"	"	100~200	50	270 360	4 12	5400	(-)	(-)	Neomyson Voltaren Hi-Z 6 cap 3 tab 3 tab	著 効 (9日目で 清澄となる)	(-)
3. T.Y.	女	37	"	"	(卅)	200	270	3	810	(卅)	30	Wintomylon Gastropylone 6 tab 3.0	無 効	(-)
4. A.O.	女	46	"	"	300↑	50	360	15	5400	150~200	30	Neomyson Nonflamin 3 cap 3 cap	有 効	(-)
5. H.H.	男	49	"	"	500↑	200	360 270	5 4	2880	80~100	100	Neomyson AP2 Gastropylone 6 cap 2.0 3.0	"	(-)
6. M.O.	男	51	右特発性腎出血	"	300↑	(-)	360	11	3960	(-)	(-)	Natacillin AP2 Voltaren 6 cap 2.0 62	著 効	(-)
7. S.S.	男	52	左特発性腎出血	"	300~500	1000	270 360	3 4	2310	100~200	50	Neomyson Voltaren 6 cap 62	無 効	(-)
8. S.H.	女	57	"	"	300~500	1000	360	5	1800	200	80	Viccillin S AP2 Gastropylone 6 tab 2.0 3.0	"	(-)
9. E.K.	女	21	急性腎盂腎炎 慢性膀胱炎	排 尿 的 痛 尿 肉 眼 的 血 尿	(卅)	100	360 180	1 4	1080	(-)	(-)	Keflex Sedes Burfen 6 cap 1.0 6 tab	著 効	(-)
10. S.H.	女	25	慢性腎盂腎炎 慢性膀胱炎	排 尿 痛 尿 頻 尿・血 尿	50~100	痕 跡	180	7	1260	2~3	(-)	Penbritin Padrin 6 cap 6 tab	"	(-)
11. T.T.	男	57	慢性膀胱炎	血 尿	150~200	痕 跡	180	14	2520	(-)	(-)	Viccillin S Hi-Z Gastropylone 6 tab 3 tab 3.0	"	(-)
12. M.I.	男	70	"	"	30~50	痕 跡	270	8	2160	5~6	痕 跡	Neomyson Resmit Nonflamin 6 cap 15 mg 6 cap	有 効	(-)
13. Y.N.	男	74	"	排尿痛・血尿	5~6	(-)	180	14	2520	5~10	(-)	Penbritin Hi-Z AP2 6 cap 3 tab 2.0	無 効	(-)
14. K.I.	男	77	" (前立腺肥大症)	血尿・排尿困難	10~20	20	180	7	1260	2~3	15	Paraprost Panacid 6 cap 6 cap	有 効	(-)
15. H.K.	男	57	膀胱腫瘍	排尿痛・血尿	10~15	(-)	90	7	630	0~1	(-)	Glucaron Neomyson 6 tab 3 cap	"	(-)
16. T.M.	女	60	"	排 尿 痛 尿 頻 尿・血 尿	20~30	30	180	7	1260	(-)	(-)	Irgapyrin soft Viccillin S Hi-Z 6 tab 6 tab 3 tab	著 効	(-)

17. I.M.	男	60	膀胱腫瘍 (尿道狭窄)	血尿	50~60	(-)	180	7	1260	(-)	(-)	Solcillin	6 cap	著効	(-)
18. N.I.	女	66	尿道カルンケル	外尿道口よりの出血	パンツに血液の附着(中等量)		180	5	900	パンツに血液の附着やや少量あり		Wintomylon Voltaren	6 tab 3 tab	無効	(-)
19. H.K.	男	62	左水腎症 左腎出血	肉眼的血尿	50~100	30	270 180	4 7	2340	(-)	30	Natacillin AP2	6 tab 2.0	有効	(-)
20. K.Y.	男	20	慢性膀胱炎	膀胱鏡検査後の出血	パンツに血液の附着(中等量)		180	7	1260	1日で出血とまる		Uropol Padrin Resmit	6 tab 6 tab 3 tab	著効	(-)
21. K.T.	男	18	慢性腎炎	蛋白尿	13~15	300	180	28	5040	(-)	200	Leftose Ali F Reserpin	6 tab 75 mg 0.1 mg	有効	(-)
22. S.O.	女	19	"	"	0~1	300	180	28	5040	0~1	300			無効	(-)
23. H.T.	女	22	"	"	10~20	30	180	28	5040	5~6	20	Ali F Leftose	75 mg 6 tab	"	(-)
24. S.I.	女	24	"	"	5~6	100	180	28	5040	(-)	30	Glycyron Neurovitan Cepol	6 tab 6 tab etc.	有効	(-)
25. Y.O.	女	26	"	"	1~2	100	270	14	3780	3~4	150	Ali F Chondron Viccillin S	75 mg 2.0 6 tab	無効	(-)
26. K.S.	男	28	"	"	0~1	300	180	21	3780	0~1	30	Ali F Glycyron Contol	75 mg 6 tab 15 mg	有効	(-)
27. Y.O.	男	31	"	"	15~20	100	180	7	1260	(-)	100	Keflex Nonflamin Gastropyllore	6 cap 6 cap 3.0	"	(-)
28. K.A.	女	31	"	"	0~1	300	270	21	5670	0~1	80	Ali F Glycyron	75 mg 3 tab	"	(-)
29. K.F.	男	37	"	"	0~1	150	180	63	11380	0~1	100	Ali F Glycyron	75 mg 6 tab etc.	無効	(-)
30. K.O.	男	39	"	"	0~1	200	180	35	6300	0~2	30	Glycyron Ali F Capilan	6 tab 75 mg 3 cap etc.	有効	(-)
31. M.M.	女	40	右遊走腎	"	5~6	100	180	21	3780	(-)	30	Panacid Empynase	6 cap 6 cap	"	(-)
32. S.I.	男	48	"	"	10~20	痕跡	270	8	2160	5~6	痕跡	Neomyson Nonflamin Gastropyllore	6 cap 6 cap 3.0	無効	(-)
33. K.N.	女	49	右水腎症	"	5~6	150	180	17	3060	0~1	50	Panacid Hi-Z	3 cap 3 tab	有効	(-)
34. S.I.	女	55	右遊走腎	"	0~1	20	180	14	2520	0~1	(-)			著効	(-)
35. S.K.	女	57	"	血尿	20~30	痕跡	270	10	2700	0~2	(-)			"	(-)

ルンケルなどによる出血4例，膀胱鏡検査後の出血1例，慢性腎炎10例，水腎症，遊走腎などによる出血または蛋白尿6例であった。

### 投与方法・期間

1日 90~360 mg， 3~63日間症例に応じて経口投与をした。併用薬剤はできるだけさけたかったが，一部を除いて使用した。

### 効果判定基準

「S-Adchnon」の性状より，尿中赤血球，蛋白の変動について観察した。

著効：赤血球・蛋白の完全に消失したもの。

有効：赤血球あるいは蛋白のいずれか一方の消失したもの，あるいは一方のみ投与前認め，のちに著明に改善されたもの。

無効：両者の消失あるいは改善の認められなかったもの。

### 臨床使用成績

上記35症例に使用し，著効10例，有効14例，無効11例で，有効率68.7%であった (Table 1, 2)。特発性腎出血では，著効を呈したものを2例，有効2例，無効4例であった。投与量は1日 180~360 mg， 3~16日間であった。

腎盂腎炎，膀胱炎などの炎症による出血では，著効3例，有効2例，無効1例で，投与量は1日 180~360 mg， 5~14日間であった。

膀胱腫瘍，尿道カルンケルなどによる出血では，著効2例，有効1例，無効1例で，投与量は1日 90~180 mg， 5~7日間であった。

膀胱鏡検査後の出血では，1日 180 mg 投与で，翌日には比較的多量に出ていた出血も止まり，著効であった。

慢性腎炎症例10例中，有効6例，無効4例で，投与量は1日 180~270 mg で，7~63日間であった。

Table 2. 疾患別の治療成績

	著効	有効	無効
特発性腎出血	2	2	4
炎症による出血	3	2	1
腫瘍による出血	2	1	1
検査後の出血	1	0	0
腎炎	0	6	4
その他の疾患による出血・蛋白尿	2	3	1
計	10	14	11

そのほか，水腎症，遊走腎の症例で，血尿あるいは蛋白尿の6例では，著効2例，有効3例，無効1例で，投与量は1日 180~270 mg で， 8~21日間であった。

特発性腎出血，慢性腎炎症例18例を除いた17例では著効8例，有効6例，無効3例，有効率82%と比較的優秀な成績をえた。

### 副作用

本剤の投与による自覚的な副作用の訴えはなかった。

他覚的なものとして，本剤投与前，後の赤血球，白血球，Ht，Hb，血小板，出血時間，凝固時間を測定した。これらのうちの一部に血清蛋白，GOT，GPT，アルカリフォスファターゼ，BUN を測定した (Table 3)。

赤血球では，19例中症例1，24，34に減少を，症例6に増加を認めた。血小板では，著明な変動はなかった。出血時間では，延長したと考えられる症例2，20，26，30，短縮したと考えられる症例4，16，22，凝固時間では，延長した症例2，6，7，23，短縮した症例35であった。また，血清蛋白，GOT，GPT，アルカリフォスファターゼ，BUN には変動を認めなかった。

### 考察

蛋白尿の成因に関与する腎性因子としては，1) 糸球体毛細管壁の蛋白透過性，2) 尿管における蛋白再吸収障害が考えられており，腎性血尿では糸球体の基底膜の断裂破壊であるといわれているが，これらに対して，決定的な治療法のない現在，種々の薬剤が経験的に使用されており，S-Adchnon 製剤も，これら蛋白尿，血尿の治療に役だつと考えられる。そこで，私たちは，本剤を慢性腎炎，特発性腎出血に使用した。

また，腎盂腎炎，膀胱炎，膀胱腫瘍，尿道カルンケル，膀胱鏡検査後，水腎症，遊走腎にて血尿あるいは蛋白尿をきたす症例にも使用した。

全体的には有効率68.7%であったが，腎疾患における蛋白尿，血尿に対して決定的な治療法のない現状では，特発性腎出血，慢性腎炎症例が18例あるため，しかたがないと思われる。

それに反して，その他の疾患による出血，蛋白尿に対しては82%と優秀な成績がえられた。

副作用に関しては，急性毒性で，マウスに最大量 3,500 mg/kg を投与しても，なんら症状を認めな

Table 3. S-Adchnon 投与前・後の諸検査成績

症 例	投与量 mg	赤血球		Ht	Hb	血小板	出血時間	凝固時間	血清蛋白	GOT	GPT	アルカリ フォスフ ァターゼ	BUN mg/dl
		×10 <sup>4</sup> / mm <sup>3</sup>	/mm <sup>3</sup>	%	g/dl	×10 <sup>4</sup> / mm <sup>3</sup>	分・秒	分・秒	g/dl	K. U.	K. U.	K. A.	
1. S. T.	1260	B 525	4900	43	15.5	24.2	3.	9.30	8.6	34	24		11.8
		A 455	4700	41.5	13.7	18	3.	9.	8.5	32	26		
2. H. M.	5400	B 440	8000	38	12.6	19.4	1.	3.30	7.5	10	18		12.5
		A 468	9300	40	13.5	19.4	3.30	8.	8.6	22	17		
4. A. O.	5400	B 414	6500	38.5	12.7		4.30	8.					
		A 406	6000	37	12		3.	8.					
6. M. O.	3960	B 406	4300	41	14.6	18.4	2.	8.					
		A 470	4700	42	14.4	23.8	2.30	10.					
7. S. S.	2310	B 427	8000	38	12.5	29	1.30	7.30	8.0	22	15	13.5	18.3
		A 420	7000	39	12.9	21	1.30	9.30	7.5	17	15	11.6	
10. S. H.	1260	B 462	5800	39.5	13.3	20	2.30	10.					
		A 470	6000	41.5	14.1	18	2.	9.					
16. T. M.	1260	B 341	5000	31	10.5	13.2	5.30	9.	7.2	27	18		12.5
		A 360	6000	33	11.3	14	3.	9.30	7.1	25	20		
20. K. Y.	1260	B 469	6400	41	13.5	41.6	1.	8.30					
		A 430	5500	38	13.7	31.6	3.30	8.30					
22. S. O.	5040	B 463	9500	38.5	13.6	34	5.30	8.	9.6	37	26	6.3	11.2
		A 455	8000	38	12.9	28	2.30	9.	8.3	30	28	7.0	
23. H. T.	2520 投与時	B 410	6800	37.5	13.3	21	3.	7.30					
		A 411	6300	37	12.5	24.6	3.	8.					
24. S. I.	5040	B 460	6200	37.5	12.7	28.8	3.	7.	7.8	17	8		11.2
		A 401	5400	35.5	11.7	20.8	2.	8.	7.4	7	10		
26. K. S.	3780	B 560	7000	51	16.4	16.8	1.30	8.	8.1	20	20		13.4
		A 576	7100	51	15.7	17.4	3.	9.	8.4	16	20		
27. Y. O.	1260	B 445	5600	40.5	13.7	10.8	4.	8.	8.2	30	24	6.7	22.4
		A 460	5200	41.3	13.9	12	3.	8.	8.2	34	20	7.0	
29. K. F.	6300 投与時	B 556	7500	47	16.2	25			8.0	28	19		14
		A 530	7000	44	15.6	21.5			8.2	30	15		
30. K. O.	6300	B 442	5100	39.5	13.3	27	1.30	8.	8.1	20	20	16.6	13.4
		A 426	6000	38	12.9	28.6	3.	9.	8.4	16	20	16.5	
31. M. M.	3780	B 426	6700	36.5	13.5	17.8			7.4				9.0
		A 416	7000	35.5	12.8	21.6			7.6				
32. S. I.	2160	B 525	5600	43	15.2	24			9.0	22	18		20.2
		A 500	6000	42	14.8	21			9.0	18	18		
34. S. I.	2520	B 520	8400	45	15.2	21.6	3.	9.30	8.2	28	16		13.6
		A 451	6700	42	13.5	19.8	2.30	9.	8.4	20	15		
35. S. K.	2700	B 413	7200	38	12.5	26.4	1.30	16.	8.2	16	17	10.2	16.6
		A 405	7000	37	12	20	2.	9.	8.1	20	13	11	

B : Before A : After

ったと報告されている。私たちの症例でも、自覚的には、なんらの副作用も認められなかった。とくに総量 11,380 mg 投与した症例も同様であった。

他覚的には家兎耳の血管における出血時間を短縮し、血液凝固時間にはなんら影響を与えないと報告されているが、私たちの症例で、測定した症例16例中、投与後、出血時間の延長したもの4例、短縮したものの1例であった。

結 語

特発性腎出血8例、腎盂腎炎・膀胱炎による出血6例、膀胱腫瘍・尿道カルンケルなどによる出血4例、

膀胱鏡検査後の出血1例、慢性腎炎10例、水腎症、遊走腎などによる出血または蛋白尿6例、計35例に「S-Adchnon tablets 30」を投与し、著効10例、有効14例、有効率68.7%の成績をえた。

自覚的な副作用は全例に認められなかった。他覚的には、本剤投与前、後の出血・凝固時間の延長、短縮を少数例に認めたが、肝機能、BUN にはなんら変動を認めなかった。

参 考 文 献

S-Adchnon 錠文献集。

(1974年10月29日受付)